

件 名

第33回埼玉県産業教育フェアについて

提出理由

第33回埼玉県産業教育フェアの実施状況について、別紙のとおり報告します。

概 要

- 1 目的
- 2 事業概要
 - (1) 開催期間等
 - (2) 開催方法
 - (3) 生徒実行委員会の取組
 - (4) 開催内容
- 3 成果と課題
 - (1) 成果
 - (2) 課題と今後の方向性

1 目的

専門高校等の生徒による学習成果の発表等の活動を通じて、生徒の技術力・創造性や課題解決能力、コミュニケーション能力等の向上を図るとともに、産業教育の魅力と役割を紹介し、広く県民の関心と理解を高めることを目的とする。

2 事業概要

(1) 開催期間等

主催	埼玉県教育委員会、埼玉県産業教育振興会
共催	(公財)埼玉県産業文化センター、(公財)埼玉県産業振興公社、(一社)埼玉県経営者協会
開催期間	令和5年11月11日(土)
会場	大宮ソニックシティ(地下展示場・2階小ホール・4階市民ホール)、鐘塚公園
スローガン	百花繚乱～咲き乱れる産業の花～
開催方法	参集とWebのハイブリッド開催 参集：11月11日(土) Web：5月上旬～3月末日公開



2 事業概要

(2) 開催方法

参集とWebのハイブリッド開催

・参集（会場：大宮ソニックシティ）

産業教育への理解促進（県民への周知）

生徒主体によるフェアの運営

- ・生徒実行委員による企画運営
- ・小中学生が楽しめる学習体験の充実
- ・オンラインでアイデアを共有
- ・デジタルサイネージを活用した広報活動

・Webサイト 学習成果の発表

Webサイトの更なる充実

- ・専用ホームページを早期開設（5月上旬）し、年度末まで公開
- ・生徒実行委員会の活動を掲載
- ・コンテスト等の結果を掲載
- ・生徒の作品・実践動画を掲載

参考： R4年度：ハイブリッド開催
R3年度：Web開催（配信型）
R2年度：Web開催（閲覧型）
R1年度：会場での開催（2日間）



2 事業概要

(3) 生徒実行委員会の取組

生徒実行委員会

フェアを運営する専門高校の代表生徒24名で構成

企画・立案
(5月~7月)

PR活動(8月~11月)



スローガン、ポスターの決定
イベントの企画立案、協議、
広報活動の方法を検討



大宮駅の飲食店と、さい
たま市立桜木小学校に、
ポスターの掲示を依頼
協力飲食店のMAPを作成



専門高校オリジナル
PR動画の作成



大宮駅東口のデジタルサイ
ネージにフェアの情報を掲載



専門高校PRイベント
会場：イオン熊谷店

2 事業概要

(3) 生徒実行委員会の取組

生徒実行委員会

フェアを運営する専門高校の代表生徒24名で構成

PR活動(8月~11月)



専門高校PRイベント
会場：越谷レイクタウン



専門高校PRイベント
会場：丸広百貨店(川越店)

当日
(11月11日)



【当日の運営】
専門高校 ×クイズ
ファッションショー放映
アンケート
スタンプラリー
受付担当

県庁オープナー
(11月14日)



県庁オープナーで、専門高校 ×クイズ、電子工作を実施

2 事業概要

(4) 開催内容

ア 会場 大宮ソニックシティ(地下展示場・2階小ホール・4階市民ホール)、鐘塚公園

専門高校の特色を生かした体験を中心に実施

専門高校生による学習体験
専門高校生と企業等が連携した学習体験
学習成果物の販売
各種コンテスト及び表彰式
小・中学生仕事体験ブース
マイスター・ハイスクール事業シンポジウム
その他



体験会場の様子

イ Web 生徒実践発表、専門高校紹介等をホームページに掲載

令和5年5月上旬から令和6年3月31日まで

生徒実践発表動画
専門高校紹介
生徒実行委員会活動報告



産業教育フェアホームページ

2 事業概要

(4) 開催内容

ア 会場

専門高校生による学習体験教室（抜粋）

いずみ高校



【農業部会】

無菌植物の順化に チャレンジ

無菌状態で育てた植物を鉢に植え替え、自然の環境に慣らす体験

幸手桜高校・羽生実業高校・皆野高校



【商業部会】

シティ・プロモーション チャレンジ

地元の魅力を発信するために、地域や企業と連携して商品開発した取組の発表

常盤高校



【家庭・看護・ 福祉部会】

手洗いチェッカー

手洗いチェッカーと蛍光塗料を用いて普段の手洗いが正しくできているかを確認する体験

川越工業高校・浦和工業高校



【工業部会】

VR体験

VRゴーグルを装着し、学校の校内見学や、実習作業を疑似的に体験

2 事業概要

(4) 開催内容

ア 会場

専門高校生と企業等が連携した学習体験教室（抜粋）

鳩ヶ谷高校&テクノ・ホルティ園芸専門学校



【農業部会】

フラワーアレンジメント制作

生花を使ってお気に入りのポットにお花を生ける体験

越谷総合技術高校・鳩山高校&株式会社シモジマ



【商業部会】

ラッピング体験

包装紙や紙袋、シールや紐などを使用して、お菓子のラッピング体験

新座総合技術高校・越谷総合技術高校&香川調理製菓専門学校



【家庭・看護・福祉部会】

マジパン製作

マジパンを使って好きな形やキャラクターのお菓子を製作

大宮工業高校&株式会社サンスター



【工業部会】

3Dプリンタによるキーホルダー製作

高速3Dプリンタを使ってオリジナルのキーホルダーを製作する体験

2 事業概要

(4) 開催内容

ア 会場

学習成果物の販売（抜粋）

熊谷農業高校・杉戸農業高校・川越総合高校・いずみ高校
秩父農工科学高校・羽生実業高校



【農業部会】

農作物・加工品等の販売

生徒が育てた野菜・果物のほか、生徒が加工した菓子や蜂蜜などを販売

太根、かぶ、きゅうり、柿、マドレーヌ等

熊谷商業高校・岩槻商業高校・羽生実業高校・大宮商業高校
皆野高校・新座総合技術高校



【商業部会】

開発商品等の販売

生徒が市場調査し、試作を重ねて開発した商品を販売
どら焼き、みそぽてサプリ
ドールかすてら、レモンエクレア、久助等

販売：生徒実行委員会



レシピ考案：川越総合高校



【アイデア弁当の販売】

令和4年度のアイデア弁当コンテストで、教育長賞を受賞した「地球にやさしい電車に乗って人とまちをつなぐ『SAITAMAエコ弁当』」

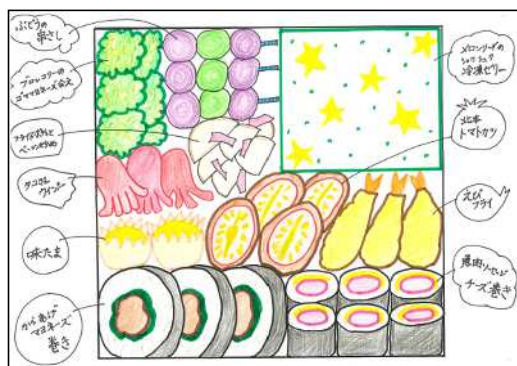
川越総合高校の生徒がレシピを考え、有限会社サポートと連携し、商品化して販売

2 事業概要

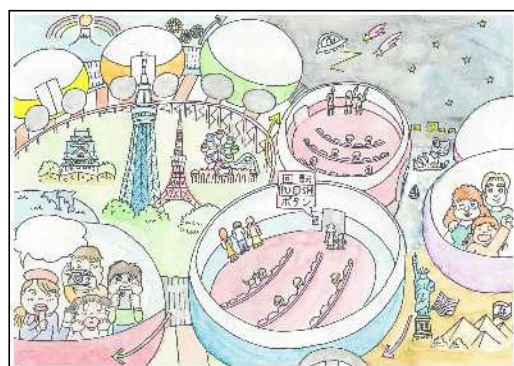
(4) 開催内容

ア 会場

各種コンテスト及び表彰式



アイデア弁当コンテスト
教育長賞受賞作品



夢の電車イラストコンテスト
教育長賞受賞作品

専門
高校生

アイデアロボットコンテスト

キャリアロボットや相撲ロボット、ライトレースの各部門による競技会

リテールマーケティングコンテスト

マーケティング分野の学習を実践的な知識へ進化させるコンテスト

アイデア弁当コンテスト (応募作品 389 作品)

募集テーマ「おでかけで食べたい みんなの幸せ弁当」

夢の電車イラストコンテスト (応募作品 402 作品)

募集テーマ「わたしが乗りたい夢の電車」

小学
生

小・中学生仕事体験ブース



ダンスでチームを応援しよう



飛行機を操縦してみよう

連携企業・学校

- ・「ダンスでチームを応援しよう」さいたまブロンコス / 久喜北陽高校
- ・「お金について楽しく学ぼう」(株) 埼玉りそな銀行 / 浦和商業高校
- ・「ホテルウェディング見学ツアー」パレスホテル大宮 / 南陵高校
- ・「知ろう、世界の日常！」JICA東京 / 所沢西高校
- ・「社長に聞いてみよう」(株) 帝国データバンク大宮支店 / 深谷商業高校
- ・「小顔エステにチャレンジ」
Total Beauty Salon PikkuMy / 久喜北陽高校
- ・「飛行機を操縦してみよう」(公財) 日本航空教育協会 / 大宮工業高校
- ・「やさしい車いす助助」
(株) ベネッセスタイルケア リハビリホームまどか戸田
/ 戸田翔陽高校

2 事業概要

(4) 開催内容

ア 会場

マイスター・ハイスクール事業シンポジウム



文部科学省「マイスター・ハイスクール事業」指定校 大宮工業高校によるシンポジウムの開催

テーマ「産業界と専門高校が一体となった人材育成に向けて」

<パネリスト>

澤田佳代（文部科学省産業教育調査官）、日吉 亨（県教育長）、廣澤健一（埼玉県経営者協会専務理事）、及川和裕（AGS株式会社取締役常務執行役員）、古郡栄一（古郡建設株式会社代表取締役社長）、大和広明（埼玉県環境科学国際センター温暖化対策担当主任博士）、和田裕介（株式会社サンスター代表取締役）、大宮工業高校教諭、同校生徒4名 【敬称略】

現地参加者66名、オンライン参加者12名

パネリストの発言（抜粋・敬称略）

Q：マイスター・ハイスクール事業において期待する教育の変化は

〔澤田〕 地域や企業などの身近な社会が学びのフィールドになり、高校教育の可能性が広がり、単なる知識の習得ではなく、学ぶ楽しさとその意味を実感できるようになることを期待します。

Q：専門高校が産業界・企業と関わることで、教育現場にどのような変化を期待するか

〔教育長〕 これまでの学校教育では、生徒に正解を教えてきました。実社会では失敗することが多く、企業の方には、そこからの学びがあることを指摘していただきました。失敗から多くを学べること。生徒にはその気持ちを持ってもらえるよう期待します。

Q：産業界・企業は、教育現場に対してどのような貢献ができるか

〔廣澤〕 企業が学校に行くときには、最新の技術や現場の働き方を知ってもらいたいと思って準備し、臨んでいます。生徒に伝わったときには、企業の方にも達成感があります。

Q：今後、産業界が学校と連携してできることは何か

〔古郡〕 今の学生は社会貢献に興味を持っています。学校での学びを学校だけで完結するのではなく、社会課題の解決や地域への貢献につながるような仕組みや授業を企業と連携して作ることができれば、この取組がもっと楽しいものになると思います。

〔及川〕 企業と学校の「協働」を成功させるためには、お互いの利害を認識する必要があります。認識する場面として、一つのものを、協力して作り上げるようなプロジェクトを組むことが良いと考えます。

2 事業概要

(4) 開催内容

ア 会場

その他

専門高校 × クイズ

生徒実行委員会が企画した専門高校に関するクイズ大会
参加者にはオリジナルグッズをプレゼント



専門高校〇×クイズ

ファッションショーの上映

越谷総合技術高校服飾デザイン科の生徒によるファッションショーの上映



ファッションショー

スタンプラリー

各専門の体験会場や鐘塚公園に、専門高校生が考案したオリジナルのスタンプを設置
参加者にはオリジナルグッズをプレゼント



総合受付 景品交換

来場者アンケート

来場者の興味や年齢層を把握するためアンケートを実施
回答者にはオリジナルグッズをプレゼント



募金活動のポスター

募金活動

来場者を対象にした募金活動を実施
ユニセフに募金



運営委員会が企画・制作した
オリジナルグッズ



専門高校生考案
オリジナルスタンプ

2 事業概要

生徒実践発表動画



(4) 開催内容

Web

【農業部会】

杉戸農業高校：微生物と食品廃棄物が作る持続可能な未来 他

いずみ高校：たくさんの人に彩を届けたい！～エディブルフラワーの生産確立をめざしたい～

熊谷農業高校：埼玉の黒い宝「彩の国黒豚」飼育プロジェクト3

【商業部会】

所沢商業高校：所沢商業高校の紹介と授業内容の紹介について

【家庭・看護・福祉部会】

誠和福祉高校：高校生福祉研究発表会（介護技術部門）

越谷総合技術高校：ファッションショー

専門高校紹介



専門高校の紹介動画、各部会の紹介動画



専門高校紹介リーフレット

専門高校のコンテンツを設け、魅力を発信

- ・専門高校紹介動画（各専門部会作成）
- ・各部会の紹介動画
農業部 工業部
商業部 家庭・看護・福祉部
- ・リーフレットやパンフレットをホームページに掲載

2 事業概要

(4) 開催内容

Web

生徒実行委員会

オンラインによる運営

Googleクラスルームを活用し、オンラインでアイデアを共有



専門高校紹介動画の制作・配信

動画を制作し、ホームページ上で配信



生徒実行委員会活動の配信

活動の様子を産業教育フェアホームページで配信



企画会議



前日準備



当日広報

3 成果と課題

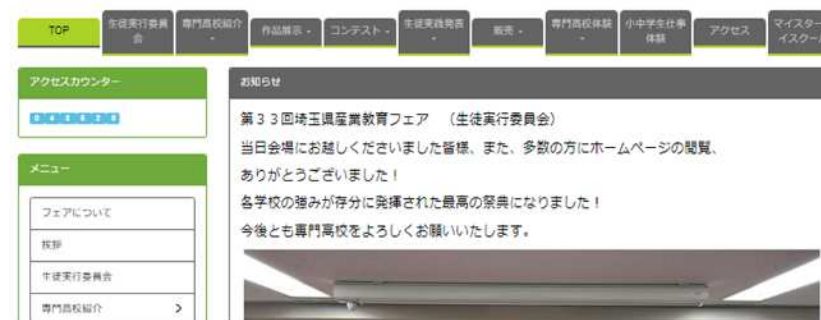
(1) 成果

フェア当日参加者及びWebページアクセス数等

- ・ 当日来場者 約700名
- ・ マイスター・ハイスクール事業シンポジウム
出席者 66名(オンライン参加者12名)

～フェア周知方法～

デジタルサイネージ、ラジオ(FM NACK5)、彩の国だより、
県・専門高校のHP・SNS、イオン「埼玉フェア」でのチラシ
配布等



- ・ ホームページアクセス数
約35,800アクセス(11月 7日現在)
約40,500アクセス(11月11日現在)
約52,600アクセス(12月11日現在)

フェア当日4日前

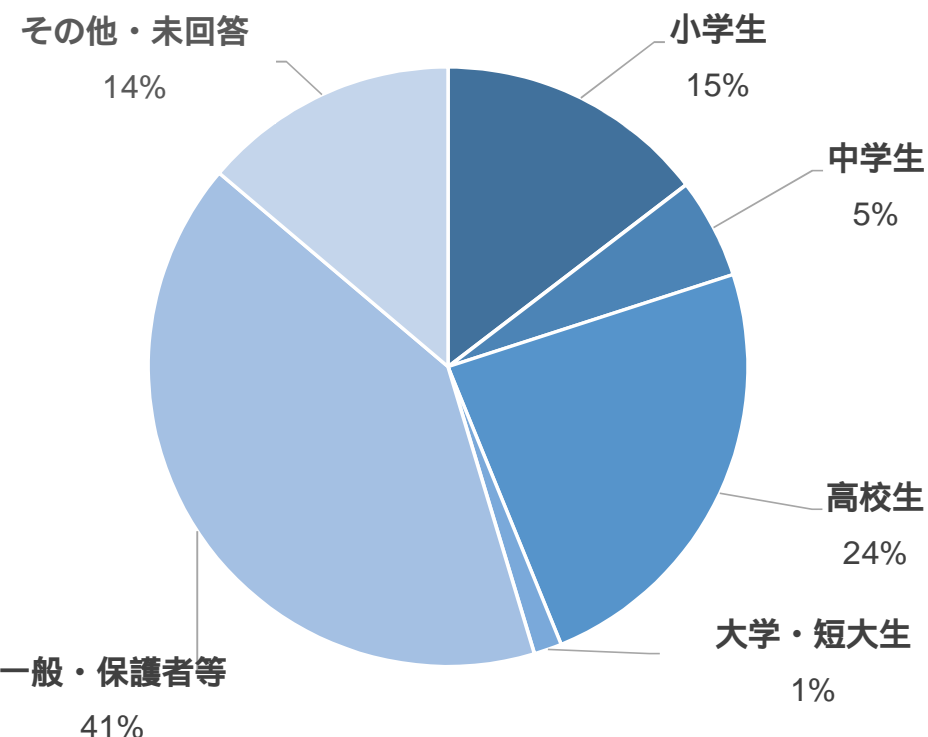
フェア当日(昨年度:約14,500件)

3 成果と課題

(1) 成果

来場者アンケート結果

回答数 130件



< 来場者アンケートのコメント >

たくさんの体験があり、高校生が分かりやすく教えてくれたので、楽しかったです。
(小学生)

高校生たちが生き生きと発表したり教えたりする姿が良かったです。私も中学生の頃から色々な職業や専門分野について知っていたら、他の進路を選択していた可能性もありました。(一般・保護者)

毎回楽しみで、いつやるのかためにチェックしていました。どの生徒さんも礼儀よく優しく指導してくれました。次回も参加したいです。ありがとうございました。(一般・保護者)

3 成果と課題

成果

(1) 成果

専門高校生の知識・技術の向上

- 生徒は、産業教育フェアで行う体験やWebで配信する実践発表のため、これまで学習してきた専門の知識や技術を基に研究を進めてきた。取組を通して、生徒自身の知識や技術を更に向上させることができた。

産業教育フェアを通じた進路選択への動機付け

- フェアに参加した小中学生のアンケートでは「産業教育フェアが進路選択に役立つか」という質問に対して、「大変役に立つ」、「役に立つ」の回答が100%であった。産業教育フェアを通じて進路選択への動機付けができた。

生徒の主体的な企画・運営のための環境構築

- 生徒が主体的に企画や運営に参加できるように、オンラインで互いの意見を発信できるGoogleクラスルームを構築した。企画立案や動画作成等が積極的に行われ、当日の運営に向けてモチベーションを上げることができた。
- 他校、他学科の生徒とコミュニケーションをとり、お互いの強みを知ることで、専門分野を生かした役割分担や、サポートを行うことができた。

ホームページの早期開設で生徒の実践を広く周知

- ホームページを早期に開設し、生徒の作品や実践等を配信したことで、多くの県民に専門高校の取組を知ってもらうことができた。

3 成果と課題

成果

(1) 成果

生徒実行委員を務めた生徒のコメント（抜粋）

産業教育フェア当日に、学習成果の発表をしたり、専門高校の魅力を伝えたりしているところを私は実際に見ました。生徒実行委員のスローガンが「百花繚乱～咲き乱れる産業の花～」なのですが、専門高校の生徒たちが自分の学科をお客様に伝えたり、体験を教えたりするその姿勢や意欲がまさに花と化しているな...と私は感じました。

私たち生徒実行委員が活動できているのは、県教育委員会、運営に御協力いただいた埼玉県産業教育振興会、専門高校、企業等たくさんの方々にも協力してもらってできる企画なので、私たちにできることは「当日無事に成功させること」でした。フェアは無事成功し、多くの方に専門高校を知ってもらえたので良かったです。

飲食店マップでは、ポスターを掲示していただいた飲食店を紹介しました。この取組を通して、産業教育フェアを説明したり、ポスターの掲示をお願いしたりすることで、授業では学べないような、社会人として必要なスキルを学ぶことができました。生徒実行委員会で学んだことを、今後の進路活動にも生かしていきたいと思います。

3 成果と課題

課題

(2) 課題と今後の方向性

アンケートでは、関係者向けのイベントと捉えられていたことが読み取れる意見があり、誰にとっても参加しやすい環境をつくる必要がある。
近隣からの来場者が多かったが、近隣に限らずより多くの方に来場していただき、産業教育に対する理解を深めていただくための工夫が必要である。
各学科の専門性に特化した内容が多いため、幅広い専門学科が参加している強みを生かした学科横断的な取組が必要である。

今後の方向性

既存の企画に加え、地元企業と連携したブースを出展するなど、産業教育に対する関心が低い層の来場を促す企画・広報活動を実施する。
現在、大宮ソニックシティ（南部地区）で開催している産業教育フェアに加え、西部、北部、東部の各地区でも、それぞれ地元企業と連携し、地域に密着したフェアを開催する。
商業科、デザイン科、情報技術科の生徒同士が協働し、広告効果の高いデジタルサイネージを作成するなど、取組を通じて互いの専門性を生かし課題を解決する企画を実践することで生徒の深い学びにつなげる。